

アニコム損害保険株式会社

錠 直也様(人事部・課長)

■企業プロフィール

本社所在地	東京都新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー39階
代表取締役会長	小森 伸昭
設立	アニコムホールディングス株式会社：2000年7月5日 アニコム損害保険株式会社：2008年1月10日
社員数	287名(2015年3月末現在)
事業内容	ペット動物専門損害保険の取り扱い 対象動物：犬、猫、うさぎ、鳥、フェレット (日本初のペット動物専門損害保険会社)

■インタビュー

東京富士大学 高橋哲也ゼミナール(経営心理学科)
磯辺佳恋(2年)、市村名津美(2年)、近藤 遥(2年)、

■訪問日・2015年11月18日(水)



～貴社のペット保険の強さを教えてください。

ペット保険とはペットの動物病院での治療費を保証するサービスです。その治療費の支払い方法に、当社ならではの強みがあります。アニコム加入者には「保険証」があつて、契約済みの対応動物病院（約 5800 ヶ所）に提示をすると、その場で保険が使える仕組みになっています。これが他社との大きな違いになります。この「使い勝手のよさ」が、たくさんのお客様に加入いただいている 1 つの要因になっています。

また対応動物病院ではない場合でも、スピーディーな支払い対応をさせていただいています。規約上、保険金の支払いは 1 ヶ月以内となっていますが、当社としては 1 週間以内の支払いを心がけています。状況により難しいケースもありますが、遅くとも 2 週間以内には処理できるようにしています。

このような利便性から 56 万頭分ほどペット保険に加入いただいております、当社の市場シェアは 60% となっています。

～現在、国内ペット保険の普及率は 5% 程度ということですが、今後の普及のためにどのようなことに力を入れていますか？

ペット保険の認知度はまだまだ低く、普及率は 5% にとどまっています。そのため当社では、広報活動に工夫をしています。ターゲットは、まだペットを飼っていない方です。動物病院以外にも、一般の企業の方にも代理店になってもらい、資料を置いてもらっています。それがきっかけでペット保険を知ってもらおうことが狙いです。ペットを飼おうとする際に当社の名前を思い出してもらえれば、加入率の向上にも繋がると考えています。

～経営理念や大切にしていることを教えてください。

当社の経営理念は「涙をなくして、笑顔を生み出す」というものです。ペットを飼う方の辛い思いを減らすことこそ、保険会社の本来の役割だと思っています。何かあつたときに保険料をお支払いするだけでなく、お客様が無駄な涙を流さずに済み、笑顔でいられるための取り組みを重視しています。

例えば当社の web サイトには、動物医療データに基づくお役立ち情報をお届けする「アニコム予防通信」というコンテンツがあります。こうした情報を参考にしてもらい、ペットの事故や病気の予防的な措置を講じることも可能となっています。

～貴社ではジョブローテーションを頻繁に行っているそうですが、どのような方針からでしょうか？

ジョブローテーションを通じて、1 人 1 人が経営者になってもらいたいと考えているからです。経営者としては 1 つの領域だけを知っているだけでは駄目で、会社の様々な業務や部署を経験する中で課題を見つけ、総合的な視点から対応策を考えなければなりません。一部門のスペシャリストではなく、様々な部署を経験したからこそ生まれてくる発想もあ

と考えています。そうやって各人が経営者のセンスを身につけることが大切だと考え、こうした制度を設けています。

～社員のモチベーションを上げるために心がけていることはありますか？

セルフモチベーションという施策をとっています。その手法はシンプルで、社員一人一人がモチベーションの上がる瞬間を工夫して、作り出すというものです。

例えばデスク周りに子供の写真を置いたり、やる気がでる座右の言葉をデスクトップに書いてみたりとかです。このようなものを「モチベーショングッズ」と呼んでいるのですが、モチベーションの下がった時でもこうしたグッズのおかげで気持ちを切り替えていけるようにしています。

～女性が働きやすい環境にする上でどのような対策を行っていますか？

女性の考え方も昔に比べ変わってきて、長く勤めたいという人も多くなってきました。そのため当社では、結婚手当や育児休暇などを充実させています。実際に産前産後休暇と育児休暇を取得した方が復職する割合は、ほぼ100%となっています。復職後も保育園にお子様を預ける時間を考慮し、時短勤務を選択できるようにして残業も一切無しにしております。このように、仕事と家庭を両立できるサポート体制が整備されているのが当社の特長のひとつです。今後も女性社員の増加が予想されますので、こうした制度の更なる充実が必要だと思っています。

～ノー残業デーがあるそうですが、なぜ導入しようと思ったのですか？

当社は発足がベンチャー企業だったため、全員が猛烈に仕事をしなければならない時代もありました。残業が月100時間を越える人がいるという状況もありました。しかし会社が大きくなるにつれて、社員の中から「仕事だけではなく家庭・プライベートの時間も欲しい」というニーズが出てきました。そこで残業時間を正常な範囲にとどめようという方針を定め、徐々に残業時間を削減していくことに成功しました。その中で生まれたのが「ノー残業デー」の制度です。この制度を導入してからは、社員の仕事に対する集中力やモチベーションも上がり、プライベートの時間も作る事ができています。そのような時間が出来たことで、終業後に一緒に食事をするなどの社員同士のコミュニケーションの活性化にも繋がっています。

～人材育成の難しい点はどのようなところですか？

当社は「自力走行型社員」の育成を目指しています。自ら学び、仕事を作り、成長につなげていくマインドを持つように指導しています。学ぶ姿勢を身に付けている人は自然と知識をつけていく傾向があるので、益々伸びていきます。学びたくなるきっかけは十人十色ですが、よりよい方向に導く施策は人事部としても常に考えているところで、そこが一

番難しいところかと思っています。

～新卒採用の人数と求める人物像は？

グループ会社全体でいま、健康促進の新規事業に取り組んでおり、その対応のための人材を補充するため、今年度は 80 名程度の新卒社員を採用しました。例年は 20 名前後でしたので、約 4 倍です。もともとペットにおける健康や予防には取り組んでいたのですが、今後は人の健康促進にも携わっていきたいと考えています。例えばですが、人も動物も一緒に健康になれるような食事の提供や健康診断なども考えております。このような新規事業に取り組むために、多くのよりよい人材を求めているのです。

求める人物像としては、先ほど申しあげた「自力走行型社員」になれる人です。現段階で将来像がイメージできなくても、きっかけさえあれば自分で考え、行動していける人材を求めています。

～最後に、社会人の先輩から見て学生へのアドバイスを一つお願いします。

できれば食べ物に限らず、あらゆる面で「好き嫌い」をなくす努力をして欲しいです。好き嫌いをなくすことが、自分の殻を破るひとつのきっかけになります。殻を破れば考え方を変えることができ、新しい自分に出会えることができます。これは学生でも、社会人になってからでも必要なことだと思います。嫌いなものを克服するのは難しく、一度はつらい思いをするかもしれません。しかし嫌いを克服したら、新しい別の自分に出会う感動も得られるはずですよ。ぜひ、チャレンジしてみてください。

■インタビュー所感

今回高橋ゼミでは、アニコム損害保険株式会社の錠様にお話を伺いました。最近までは本学とも近い新宿区下落合に本社を構えていましたが、2015年11月より新宿区西新宿に本社を移転されました。新宿副都心ビル群の一つの最上階という素晴らしい立地に、まず驚きました。真新しいオフィスには、清潔感のあふれる近代的な空間が広がっていました。オフィスフロアーは壁もなく全面ガラス張りです。社員の方のキビキビと働いている姿を存分に見せて頂きました。

今回のインタビューの中で一番強く感じたことは、アニコム損害保険様とおお客様との強いつながりでした。ペット保険の業務を通じてお客様と一緒に喜びと悲しみを共有する姿には感動すら覚えました。

最後になりますが、好き嫌いをなくすという自分の殻を破るきっかけとなるアドバイスまで教えて頂きました錠様、貴重な体験ありがとうございました。

(経営心理学科 2年 礒辺 佳恋)

